

公表

第 27 回技能グランプリ「建具」職種競技課題

次の競技時間、注意事項及び仕様、支給材料に従って課題図に示す親子屏風を製作しなさい。

1. 競技時間

標準時間 12 時間

打切時間 12 時間 30 分

2. 注意事項

- ① 図示されていないものは、慣例に従い工作する。
- ② 割り込み、すみ付けはすべて競技会場で行う。
- ③ 原寸図の型板は使用禁止とする。
- ④ 安全には十分配慮すること。競技時は作業服、帽子等を着用するものとし、木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）や電動手持ち工具の使用に当たっては、保護メガネを使用し、競技委員の指示に従い、安全に作業を行うこと。
- ⑤ 木工機械（テーブル傾斜丸鋸盤）の使用に関してはホゾ引きのみとし、溝加工は電動小穴カッター（溝きりカッター）又は電動工具トリマを使い製作する。工具用の刃物、治具などは持参すること。
- ⑥ 土居の製作には電動ジグソー、電動工具トリマを使用しても良い。
- ⑦ 障子の上棧、下棧のシャクリは電動トリマ又は電動小穴カッター（溝きりカッター）を使用しても良い。
- ⑧ 組み立てに、ハタ金を使わずに組み立てる事とする。
- ⑨ 手工具は指定の物以外持参しても良いが、使用にあたっては競技委員が判断する。

3. 仕様

- ① 機械作業のホゾ穴は、框周り・兜巾棧・土居とし、ホゾは框・上棧・中棧・下棧・兜巾棧まで、溝は引違障子の 9mm・嵌め殺し障子の 15mm・額の収まる 20mm・杉板の収まる小穴とする。
- ② 引違・嵌め殺し障子のホゾ穴、ホゾ及び組子、付子のホゾ穴、ホゾ、隅丸額の製作加工は、手加工とする。
- ③ 上棧 上棧と框の取り合いは箱留め接ぎとし、一方は腰型流れ胴付きとする。
なお、箱留め接ぎの加工にあたっては電動ドリルの使用も許可する。
- ④ 框 框と横棧の取り合いは、図示に従い、裏は面落ち胴付きとする。
- ⑤ 中棧 中棧と框の取り合いは、腰型とする。
- ⑥ 下棧 下棧と框の取り合いは、腰型流れ胴付きとする。
- ⑦ 土居 土居と框の取り合いは、打ち抜きホゾとし図示に従いクサビ締めとする。土居の両端の R の大きさは自由とする。
- ⑧ 束・棧 束と棧の取り合いは卍とし、兜巾面を取り、寸法に従い製作する。

- ⑨ 額・腰板 腰板に隅丸の額を取り付けて収め、留は三枚に組み釘止めにする。
なお腰板は、しゃくり出し等自由とする。
- ⑩ 縦束 図示に従い斜めに加工作し、腰型流れ胴付きとする。
- ⑪ 横束 割り込み寸法は図に示す通りとする。
- ⑫ 兜巾棧 図示された寸法に従い、兜巾面を取り、製作する。
- ⑬ 組子・付子 図示された寸法に製作し、面はエテ面とし、大きさは自由とする。
- ⑭ 面 片面とし、図示されたものはすべてそれに従い製作する。
平几帳面は手加工とする。
- ⑮ 丁番 位置は自由とする。(ステンレス中厚76を用意する) 丁番の取付は
競技終了後に行う。
- ⑯ その他 接着剤・釘は、各自で持参する。
障子紙貼りは競技終了後に行う。

4. 支給材料

部材名	長さ	見付	見込	数	材質	備考
框	800	51	41	4	米ヒバ	
上棧	1050	51	41	1	//	
//	450	51	41	1	//	
上中棧	1050	39	41	1	//	腰板下中棧含む
//	450	39	41	1	//	
下中棧	1050	35	41	1	//	
//	450	35	41	1	//	
土居	1100	41	45	1	//	
//	500	41	45	1	//	
縦束	700	85	41	1	//	
兜巾	1050	29	33	2	//	縦・横含む
額	800	28	21	2	//	
障子框	450	26	16	6	//	
障子上棧・下棧	350	41	16	6	//	
腰板	460	270	9	1	杉	
組子	700	8	12	8	米ヒバ	割り付け用含む
付子	700	6	12	6	//	
ほぞ穴ゲージ	300	41	41	1	//	
丁番				2	SUS	中厚76丁番
クサビ						切り落とし使用

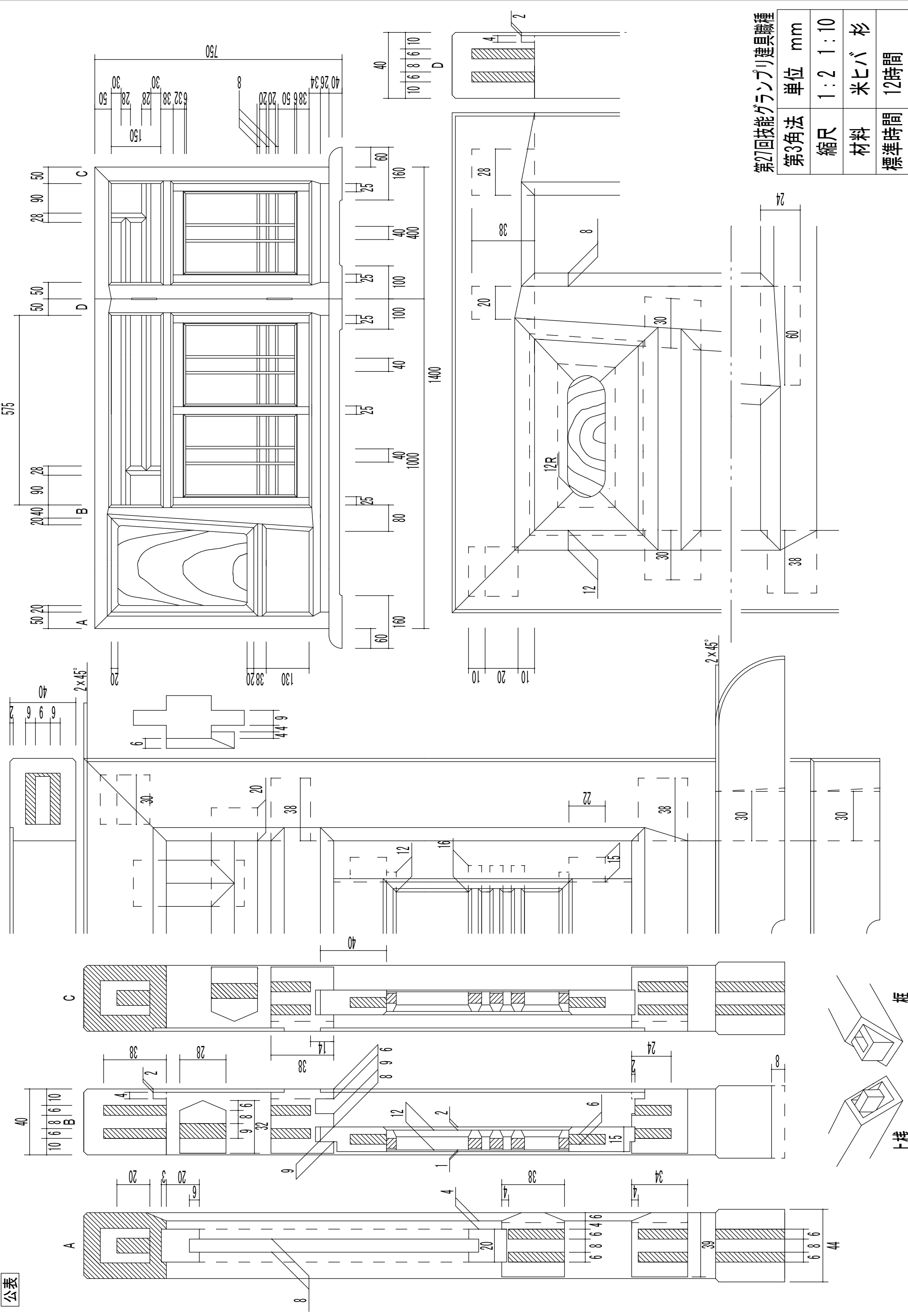
第27回技能グランプリ「建具」職種持参工具等一覧表

区 分	品 名	寸法及び規格	数量	備 考
工 具	平 か ん な	荒・中・仕上げ	適宜	
	際 か ん な		適宜	
	角 面 か ん な		1	
	几帳面かんな		適宜	通常使用しているもので良い
	外 丸 か ん な		1	
	両 刃 鋸		適宜	縦挽き鋸・横挽き鋸でも良い
	胴 づ き 鋸		適宜	定規・鋸ハタを含む
	向う待ちのみ		適宜	
	追入れのみ		適宜	
	突きのみ		適宜	
	底さらいのみ		適宜	
	の み 野 引 き	6・9mm	各1	ほぞ穴ゲージは支給する
	筋 野 引		適宜	
	鎌 野 引		適宜	
	四 つ 目 きり		1	下穴用
	白書き(しらひき)		1	
	二 丁 白 書 き		1	
	まきがね又はスコヤ		1	
	こしかた(不精型)		適宜	留型を含む
	げ ん の う		適宜	
	打 ち 当 て		1	
	は た が ね		適宜	
	隅丸加工用工具		適宜	割り野引・くり小刀・豆鉋 等
	面取組子用工具		適宜	
測 定 具	直 尺	300・600・1000mm	適宜	JIS入りが良い
	さ し が ね		1	
	ノ ギ ス		1	
其 の 他	釘		適宜	
	油 つ ぼ		1	
	接 着 剤	酢ビ 等	適宜	
	刷毛・ブラシ等		適宜	
	砥 石		適宜	
	筆 記 具		適宜	
	電 動 ト リ マ		適宜	
	電 動 小穴カッター (溝きりカッター)	刃物適宜	1	
	電 動 ジグソー		1	
	電 動 ド リ ル		1	
	保 護 メ ガ ネ		1	

(予備の工具を持参しても良い)

第27回 技能グランプリ「建具」職種 競技会場設備基準

区 分	品 名	寸法又は規格(mm)	数 量	備 考
会 場 設 備	加工作業場合板敷き	12mmコンパネ	全面	ガムテープ目張り
	加工作業場所面積	3000×3000	1人で1面	ビニールテープで区分
	作業台(立式)	2000×900×800	1人で1台	木エパイプ付
	作業台(座敷)	1200×300×100	1人で1台	
	黒板	1800×900	1面	
	長机	3人用	20脚	
	折りたたみ椅子		50脚	
	ポリバケツ	5L位	2人で1個	水拭き用
	パーテーション	900×1800 位	丸鋸盤に1脚	丸鋸盤木片飛散防止用 4脚
工 作 用 機 械 器 具 工 具	墨付け台(横当て)	1組 2台	24台	人数分
	側置き台	900×900×900	8脚	機械作業の材料置場
	テーブル傾斜丸鋸盤	ほぞ取り装置付き	4台	5人で1台 通称「昇降盤」
	角のみ盤		4台	5人で1台
	工具セット	スパナ等	1式	機械調整用
加 工 用	丸鋸	305×2.2	4枚	縦挽き用チップソー
	角のみ	6mm・9mm	各1本/台	持参して使用しても良い
採 点 測 定 具	直尺(銅製)	1500・600	各1	JIS規格品
	ノギス	200	2丁	JIS規格品
	大がね		1丁	
そ の 他	事務用品・消耗品		1式	
	救急薬品		1式	
	掃除用具		1式	



第27回技能グランプリ建具職種

第3角法	単位	mm
縮尺	1:2	1:10
材料	米ヒバ	杉
標準時間	12時間	

公表

第 27 回技能グランプリ「建具」職種 採点基準概要

1. 採点項目及び配点

採点項目		配点
作品採点	寸法精度	25点
	加工中採点	15点
	仕上り採点	49点
作業時間採点		6点
作業態度採点		5点

2. 採点方法

減点法により採点を行う。

第27回技能グランプリ「建具」職種 Q&A

質問1

溝切カッター、ジグソー、トリマは、指定作業以外の使用は禁止でしょうか？

質問1の回答

禁止です。

質問 2

図面上 組子 仕上がり見付が 8mm で、支給材の材料見付が同じく 8mm となっております。仕上げしろがありませんが、どのような仕上げにすればいいのでしょうか？

質問 2 の回答

組子に関しては、8mm で仕上がったものを材料として、提供します。

質問 3

技能グランプリ建具種目で隅丸付き額の板をはめ込むための溝加工ですが、トリマ、溝加工機の使用可能となっておりますが、フラッシュ扉用目違い払い機の使用は構いませんか？

質問 3 の回答

フラッシュ扉用目違い払い機の使用は可。